

8/27(土) 12:50～17:00
防災実践者による分野別のディスカッション
(1)市民セクターの連携

熊本県健康福祉部健康福祉政策課
福祉のまちづくり室 室長
木村 忠治 様

平成28年熊本地震



災害ボランティアとの 協働について

平成28年8月27日
熊本県

被害・被災者の所在などの状況

余震

震度7×2

- 人的被害
死亡者95人等
- 住家被害
約17万戸
- 全壊半壊
約6.1万戸

避難所、
車中泊、
自宅
など

復興計画

地域支え合いセンター

仮設住宅
約4千戸

みなし仮設
約8千戸

自宅等

生活
再
建

災害ボランティアとの協働

- ☑ 県社協・JVAOD・県による連携対応
(都道府県レベルでは全国初)

県段階での
連携強化

各地域での
連携へ

熊本母体の
ネットワークへ

2つのボランティア

一般
ボランティア
(社協等)

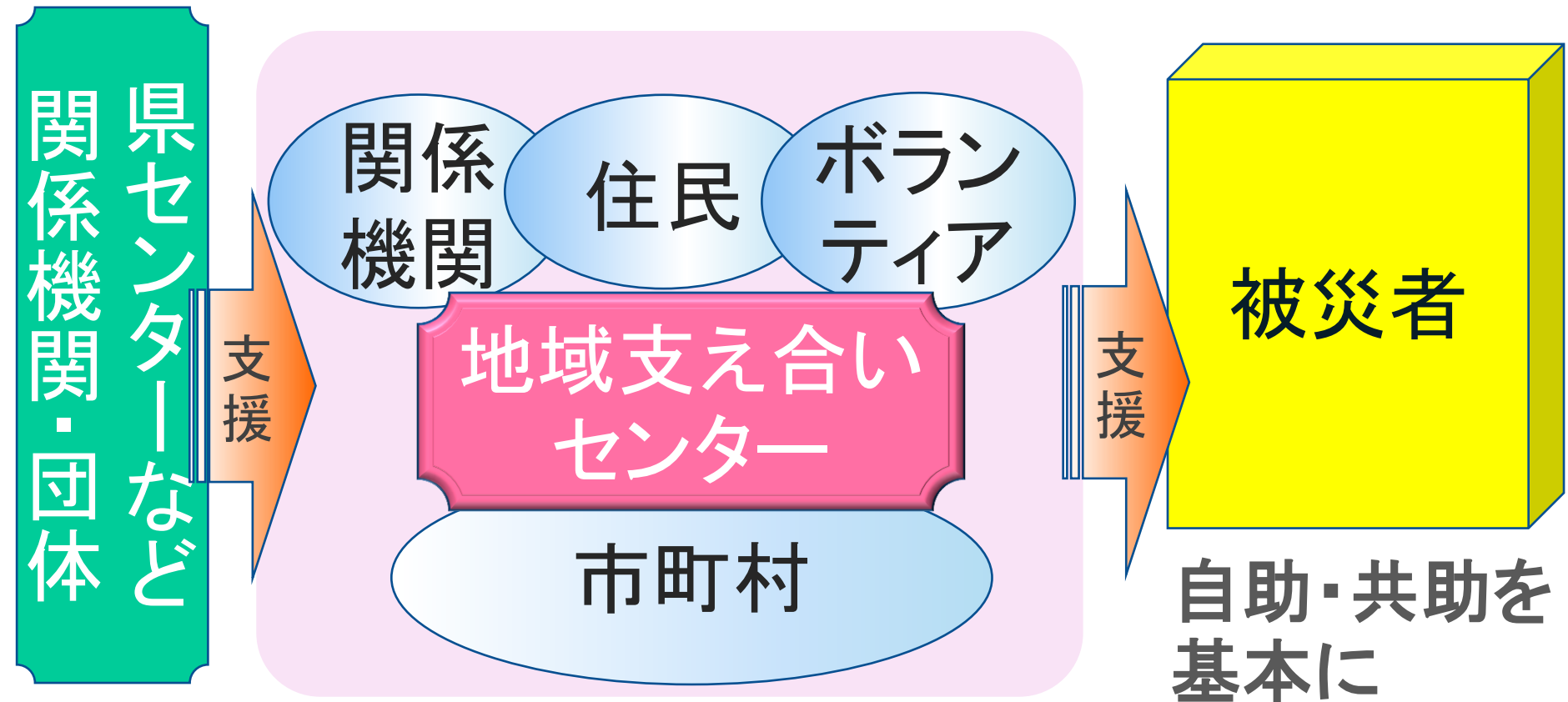
- ・安全期～
- ・居宅片付け
支援が中心

専門
ボランティア
(NPO等)

- ・発災直後～
- ・経験ノウハウ

地域支え合いセンターによる被災者支援

- ✓ 被災者支援の中核として市町村が設置
- ✓ 被災者とつながる。つなげる。つなぐ。



県とJVOADとの主な連携例

県庁内に事務所を提供

3者連携会議(週2回)＋火の国会議(毎日)

市町村段階
での連携要請

市町村協議参加
(地域支え合いセンター等)

義援物資共同対応

避難所運営・
環境改善

仮設くらし
セミナー

仮設住宅
物資提供

熊本母体のネットワーク構築支援など



JVOAD事務局(熊本)

4／19夜、ボランティア
団体の皆さんと



ボランティアセンター(5月)



ブルーシート例



ボランティアニーズの移り変わりイメージ

避難所

仮設住宅等での
コミュニティ形成等

自宅等での避難者

地域
再構築

心身の健康

生活再建支援

学習支援

ブルーシート

必需品・思い出の品取出し

**観光はいつでも
大歓迎だモン！**

居宅等片付け

農業・集落維持

災害ボランティアへの期待

☑全国的なプレゼンスの向上を

JVOAD、支援Pって何？
全社協や経済界が支援？
どんな活動、ノウハウを？

(例)自治体、社協
などに向けた
情報発信

☑経験ノウハウを生かした水先案内を

市町村、
社協を軸に
(地域による)

数歩先
の展望
提示を

活動の
見える化を

ボランティア
ニーズ発信・
調整貢献を

実践、検証を訓練へ